

安平町鉄道資料館

～紹介～

安平町鉄道資料館は昭和51年に開館した。「D51 320」の鉄道などを保管している鉄道資料館です。人々達が「SLを残していこう」という思いからこの資料館ができました。ほかにも火災時のときの写真などたくさんの展示物もあります

記者

工藤 和奏

佐藤 一加 ラルス

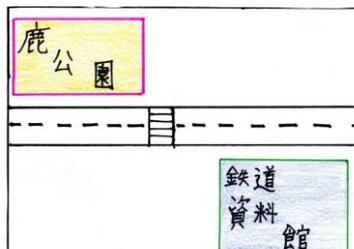
清水 結 ぴーすけ



SL「D51 320」

の秘密?!

「D51 320」は夕張から石炭を運んでいたSLです。毎日毎日、石炭を運び、走った距離は、「2,752,188 Km」地球約69週分です。この距離を約50年で走りました。



住所

北海道勇払郡安平町追分
白樺2丁目14番地

～SLの造り～

SLは、連絡器・防煙板・前照灯・シリンダ室・煙突・蒸気室・主連棒・主動輪・安全弁・発電機・給水ポンプ・運転室・炭水車の全部で、約13の造りでSLが動いています。



☆SLの豆知識☆

- | | | |
|---------------------------|--------------------------|--------------------|
| ・車輪の大きさ 1メートル40センチメートル | ・SLが造られた日 昭和14年11月11日 | ・1日で使う石炭の量 約4トン |
| ・全体の長さ 19.5メートル | ・SLが造られたところ 日立製鉄所 | ・1日で使う水の量 約20トン |
| ・全体の重さ 123トン | ・SLの製造期間 約1年 | |

！感想！

鉄道の造りや、SLの秘密を知ることができました。普段は、なかなか見られない場所が見れて良かったです。

